

1 グランドデザイン

H29 GRAND DESIGN「学びをつくる」

静岡県の教育方針

- 『有徳の人』の育成
  - ・確かな学力の育成
  - ・徳のある人間性の育成
  - ・健やかでたくましい心身の育成

牧之原市第2次総合計画

- 宝子ども育成プロジェクト
  - ・英語力向上、ICT活用、チーム学校体制等

学校経営方針

- 主体性の伸長
  - ・生徒の**自治力、実行力**(活力)を伸ばす。
  - ・**わかろうとして聴く**姿勢を基盤とする

学校教育目標

感動を創り、夢を拓く相中生

心を揺さぶられる感動を体験し  
夢を育み、夢(自己の目標)に向かって巣立つ

重点目標

認め合い 支え合い 高め合う生徒

○踏み出す仲間を認めること、そして、時には、支え合うことで、清々と自己を表現し、確かな自信へとつながる→**認め合う 支え合う**

○学校という集団であるからこそ、共通の目標に向かって切磋琢磨することで自己の目標達成だけでなく、仲間への感謝の心を育むことができる。**相手意識をもって**、自己を高めることがこれからは生き抜く生徒の社会性を育むことにつながる→**高め合う**

生徒の実態

- 生徒会を中心に、生徒の手による活動が意欲的に進められている。
- 授業を大切にしようという姿勢が育ちつつある。
- 黙々と清掃ができる。
- 挨拶、合唱に誇りを持っている。

保護者・地域の学校に寄せる思い

- ・落ち着いた学校にしてほしい
- ・ルールやマナーを守り、規範意識の高い相中生であってほしい。
- ・高い学力をつけてほしい。
- ・子どもが安心できる学校であってほしい。
- ・地域の行事や防災の力になってほしい

(Plan)

学びづくり部

『学び合い、高め合う授業づくり』

- 考えを伝え、教え合いみんなで進める**「つながる授業」**〈3つのルール〉
  - ・高め合う環境づくり(教え合い学習)
  - ・思考ツールの活用、授業を見合う会
- 聴く姿勢の徹底
- 家庭との連携(学習習慣)

誇りづくり部

『自主的、実践的な態度』の育成

- 生徒の思いを大切にし意志ある活動から自己肯定感を育む
  - ・話し合い活動
- 自治活動の推進(学校生活向上)
  - ・生徒会活動、生徒議会
  - ・相中3つの誇り、七耀祭

たくましさづくり部

『主体的に行動できる生徒』の育成

- 支え合い、認め合う仲間づくり
- 自己肯定感を育む生徒指導(受容と対話と自己決定)
- 自己指導能力・判断力の向上
  - ・品性…生活のルール、交通マナー向上、食育
- 安心安全な学校づくり
  - ・いじめゼロ・防犯教育・早期対応・保健指導

(Do)

4月＝出会いと決意の耀＝

- ・人・もの・こととの出会い
- ・これからの自分を描く
- ・仲間づくりの大切さ



目標  
授業が楽しい  
85%以上



生徒会活動

『踏み出せ！！STEP相中生』  
〈Study Trust Experience Positive〉  
相中生の誇り

爽やかな挨拶・感動清掃・感動する歌声

6月＝挑戦の耀＝

- ・「学習・授業に全力で取り組むこと」の価値づけ
- ・可能性を引き出す



9月＝創造の耀＝

- ・「仲間のよさを認め、集団でより良いもの(授業・行事)をつくる」



11月＝飛躍の耀＝

- ・「自分の考え(意志)で行動する」(自立に向けてのステップアップ)
- ・「人・もの・ことへの感謝」
- ・「新たな目標への自覚」



目標  
相中に誇りを持っている  
85%以上

教務部・研修部

思いを持って、進んで表現する生徒の育成

- ・「問いかける」「認める」…意識化、意欲化
- ・「価値づける」…「学びの足跡」(次ぎにつながる成果(自)と課題(他)) ステージ集会(check)

事務局

生徒の豊かな育ちを支援する教育

- 笑顔の接遇、迅速な対応
- 学習環境の整備
- 予算の効果的執行
- 教育活動への支援
- ・安全点検の活用
- ・活動の参観・正確な事務処理

《学校》連携・協力《家庭・地域》 広報活動の充実

(学校)

- ・相中新聞、学年だより、学級だより
- ・積極的な報・連・相
- ・学校評議員会

(PTA)

- ・常任委員会、運営委員会、PTA総会、授業参観、三者面談、懇談会、資源回収、親子奉仕活動、家庭教育学級等

(地域)

- ・地域人材活用(読み聞かせ等)
- ・地域貢献活動(各部活動ごと)
- ・防災訓練への参加
- ・地域行事への参加